

町政モニター事業

播磨町では「協働のまちづくり」をより一層進めるため、皆さまからのご意見やご提案をいただく「町政モニター事業」を行っています。町政モニター事業についてのお問い合わせは企画課 ☎079-435-0356

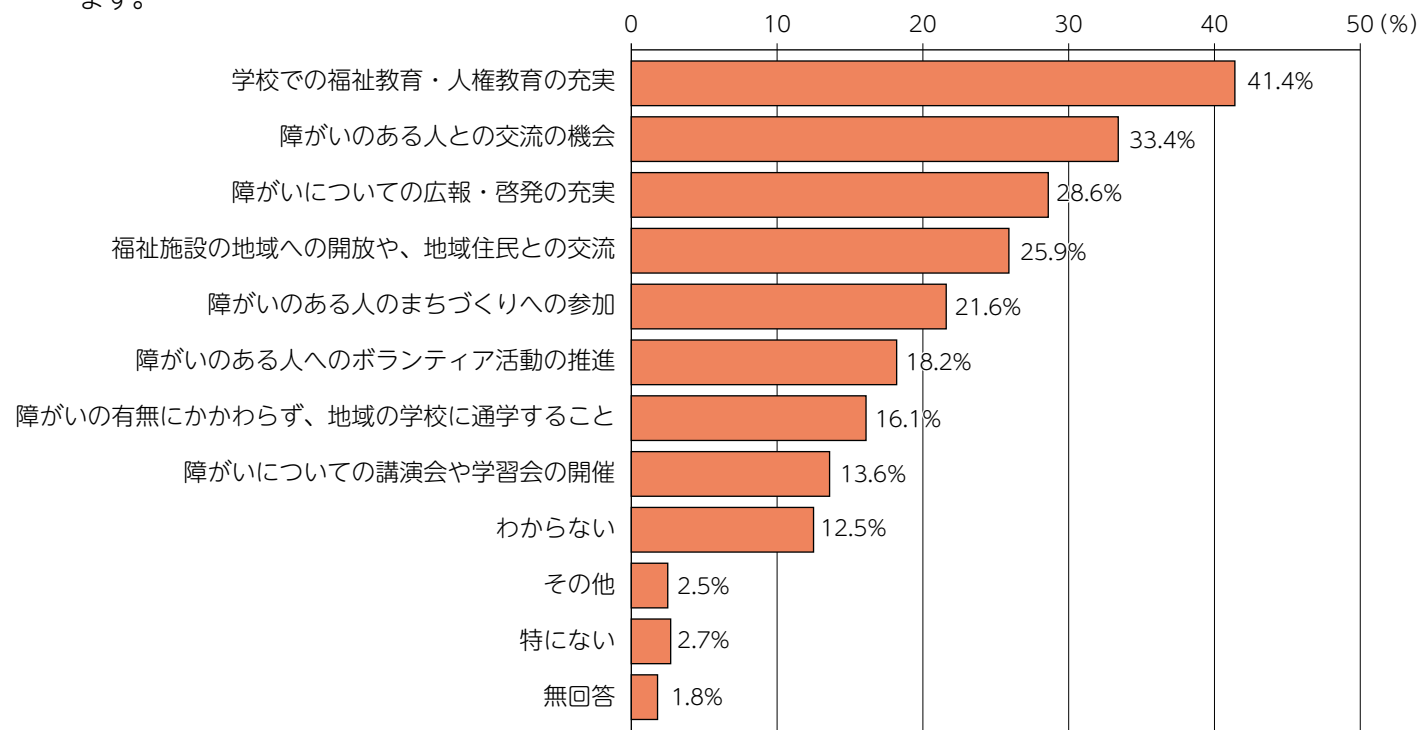
令和4年度町政モニター（アンケート調査結果報告） 播磨町障害者計画等策定に向けて

「播磨町障害者計画、播磨町障害福祉計画、播磨町障害児福祉計画」が令和5年度で計画期間が満了するため、令和4年度から2カ年かけて新たな計画を策定します。その策定にあたり、住民の皆さまの意見や要望などを把握し、計画へ反映するため、アンケート調査を実施しました。

播磨町在住の18歳以上の人から無作為に抽出した1,000人に送付し、440人から回答を得ました。多くの人のご協力をいただき、ありがとうございました。結果について、一部抜粋してご報告します。

問 障がいについての住民の理解を深めるためには、なにが必要だと考えますか。【3つまで○】

住民の障がい理解を深めるためには、「学校での福祉教育・人権教育の充実」が41.4%と最も高く、次いで「障がいのある人との交流の機会」が33.4%、「障がいについての広報・啓発の充実」が28.6%となっています。



「町政モニター事業」以外でも、障がいのある人を対象としたアンケートと、近隣の事業所を対象としたアンケートをそれぞれ実施し、たくさんの回答やご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

▶アンケートについてのお問い合わせ 健康福祉課 ☎079-435-2361

ワークショップを実施しました

計画策定に様々な意見を反映させるため、播磨町自立支援協議会によるワークショップ「どないしたらええんやろう井戸端会議」を6回実施しました。

現状の課題や目指したい姿、それを実現するためのアイデアを出し合い発表しました。

★テーマ★

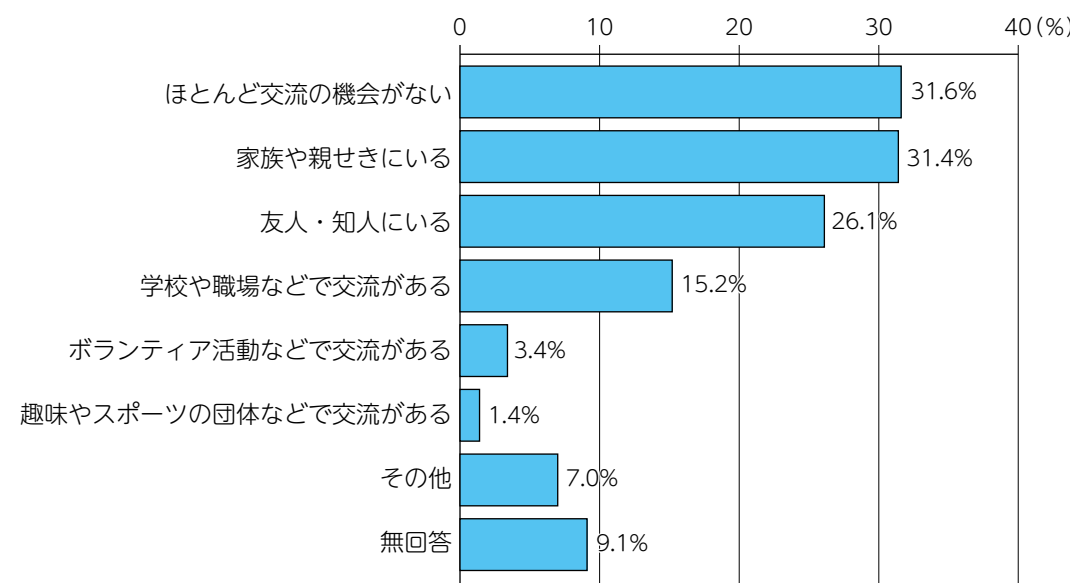
- 第1回 そだつ、まなぶ
- 第2回 はたらく
- 第3回 くらす
- 第4回 お金と契約（権利擁護）
- 第5回 防災（命をまもる）
- 第6回 フリートーク



▶ワークショップについてのお問い合わせ 播磨町自立支援協議会 ☎079-437-3456

問 あなたの身近に障がいのある人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

「ほとんど交流の機会がない」が31.6%と最も高く、次いで「家族や親せきにいる」が31.4%、「友人・知人にいる」が26.1%となっています。



問 あなたは障がいのある人が困っているとき、手助けをしますか。

手助けへの積極性は、「自分から進んで手助けする」が42.5%と最も高く、次いで「頼まれたら手助けする」が39.8%、「手助けするのは躊躇する」が10.5%となっています。

